

# 求める会ニューズ No. 938

## 食料環境セミナー報告

### 「日本人が知らない漁業の大問題 ～水産物を巡る『食』の現代的課題～」

3月22日(水) 10:30～12:00

鹿児島大学水産学部

教授 佐野雅昭さん

3、4年前まで、世界の食べ物は配分の不平等はあったものの絶対量は足りていた。しかし今では足りなくなっている。日本の食、水産物（農産物も）は、この2、3年で危機を迎えるだろう。

最近、メディアにウナギやマグロがよく取り上げられる。ウナギのシラスが激減しているので親ウナギを保護しよう、獲るなということだが、これは、行政の「考えていますよ」というポーズで、もともと獲るほどいないので漁業者はとっていない。実は河川開発でウナギの住める環境がなくなったのが原因と思われる。

クロマグロも減っているというが、どれだけの人が食べているだろう。漁業より養殖というのは大きな誤解である。食べ物がたくさんあって養殖に使うエサが安く手に入って初めて養殖が成り立つ。

養殖は、サバ700kgからマグロの刺身25kgをとるという無駄の多い不安定なものである。食料が世界的に足りない今、エサとなるサバを食べたいという買い手はたくさんある。

国の推進する食育（魚をもっと食べよう）の第一にファストフィッシュがある。東南アジアの池で養殖された臭いのきつい魚を消臭剤を入れてよく洗い、皮を取り、三枚におろし、レントゲンまでかけ

て一本残らず骨を取り、保存料でピンとさせて冷凍。安い値段で輸入して解凍し、濃いタレ漬けで売られる。こういうものを食べさせられて、子供は魚がきらいになり、若い人たちの魚離れを助長する。

漁業者は後継者がいなくて、生産量が落ちているうえ、国内で売っても安いので輸出にまわす。サーモンばかりが売り上げを伸ばす。

最近、漁業権も問題にあがっている。漁業権をなくして企業参入を認めよというものだ。しかし、漁業権があつてこそ、漁業者たちが私たちのために魚を取ってくれて、そのために海の環境も守られる。漁業権がなくなると海が埋め立てられ工場が建って、私たちは海と切り離される。

食べることは大事だ。少々のおいしさを食べても幸せで元気がでる。周りを海に囲まれた日本は、国内でとれた四季折々の魚を食卓にのせ、家族そろって食べていた。今では大きな商社と大きな小売店が結びついて、食べ物の流れも支配されつづけている。

私たちはどんなものが食べたいか、子供たちにどんなものを食べさせたいか。行政には頼れない。自分たちが選んで食べることで子供たちの未来を守りたい。

(西山町G 岡 和美)

## 次回食料環境セミナー

### 「地域が支える食と農

#### ～顧客からサポーターへ」

4月26日(水) 10:30～12:00

ファームアンドカンパニー株式会社

兵庫食べる通信 光岡 大介さん

## 市島町有機農業研究会 第42回通常総会 報告

日時：2017年4月8日 11:30～ 場所：ライフピアいちじま

市有研：大谷さん、一色さん、橋本慶子さん

求める会：大野、岡部 つどいの会：佐藤さん

神戸をたつ時は雨模様、ここ急に暖かくなり阪神間の桜もやっと本番の中、市島へ。丹波のあたりに来ると青空、周りの桜が満開です。ライフピアの土手にはツクシ、スミレ？、タンポポがいっぱい、春で～す。我々、いつも心がけが良くラッキーですね？

大谷さんの司会で総会の始まり。40年前に掲げられた「市島町有機農業研究会の目標」にある、「生産者は生命尊重、安全な栄養価の高い有機農産物の生産をめざし……」、また「生産者と消費者が正しい食べ物を媒介とし信頼に結ばれ明るい社会を建設……」というスピリットを再確認しました。

現状の報告のなかで、2月の雪によるハウス倒壊後、修理が進まず、今年中に復旧は難しいとのこと、夏作、冬作も路地ものになりそうで、了承いただきたいということでした。自然は過酷、で行政の対応はノロノロ？

活動報告に続き会計・予算報告。来年度の役割—事務局長：橋本、会計：一色、庶務：大谷。

顔の見える関係を40数年続けられたことを消費者として感謝。大谷さんの来年引退声明もありますが、若い人を引き入れ、伝え、消費も落とさず、新しい体制作りに双方、ポジティブに、年齢に負けず頑張ってください！ 前を向いて進もう！

(センターG 岡部 真理子)

### 「市島町有機農業研究会の目標」について

岡部さんの報告にあります「市島町有機農業研究会の目標」は、総会議案書の式次第の前に、毎年掲載されているものです。この機会に全文をご紹介します。(旧仮名遣い、句読点は原文のまま)

人間の生命の根源である食物が農毒や食品添加物によって汚損され国民の生命と健康が蝕まれ、このままでは人類が絶滅する危機にある。

「一人の生命は宇宙よりも重い」と言ふ生命尊重の正しい価値観に目覚めた農畜産物の生産者は有機複合経営を確立し安全な栄養価の高い有機農産物を生産するよう努めねばならない。

その生産者と消費者の間に「正しい食べ物」を媒介として心と心とが愛と信頼によって結ばれ人格的な愛の交わりの明かるい社会を建設することを究極の目的とする。

一色富士夫さんは、市有研の創立者の近藤昭さん、木下正男さん、一色作郎さんの三人が、一色さんの家で話し合っ、この目標を作っていた記憶があるということです。古めかしいかもしれませんが、今こそ必要な目標のように思います。創立者の三人はキリスト教精神に基づいた愛農会と関りがあり、その精神が文面に表れています。

(代表 大野 貞枝)

## 第5回 兵庫県学校食育研究会報告

3月27日（月、10：00～16：30）、上記研究会が開催された。会場は県民会館、主催はNPO法人兵庫農漁村社会研究所である。

今回のプログラムと内容は、下記のとおり（④の内容は省略）。

### ①10年の歴史とこれからの学校給食

春井 晃氏（兵庫県教育委員会体育保険課）

食育基本法施行から約10年経ち、2016年度からの5カ年の重点課題として、「若い世代を中心とした食育」「多様な暮らしに対応した食育」「健康寿命の延伸につながる食育」など5つの目標を掲げて実践に移していくとのこと。

### ②食育の視点を取り入れた授業に取り組む

辰巳智子氏（姫路市城陽小学校教諭）

児童の実態調査では ・朝食はほとんどの児童が食べているがバランスよく食べているのは半分くらい ・家庭団らんの食事を楽しみたいと感じている児童が多い ・給食は大好きで苦手な野菜も食べるが、家庭では好んで食べない、などが分かった。

また、各学年の発達段階に応じて具体的な取り組みの一覧が提示された。

### ③中学校における教科教育（英語）と食育

藤田真由美氏（稲美町立稲美中学校主幹教諭）

英語の授業で食育をどう取り入れるか。クイズでゲームのようにしたり、英語の授業らしく外国（スーダン）の給食と比較したり、さまざまな工夫をこらしておられ、つい引き込まれた楽しいお話であった。

### ④学校における食育の視点と実践

高橋亮子氏（武庫川女子大学教授）

年に一度のこの会は毎回年度末に開催され、兵庫県内の食育の取り組みについて、県の立場からと、現場の小学校・中学校の実践、大学の先生の分析と提言、と多様な立場からの報告があり、広い範囲で理解しやすいように工夫された研究会である。

（鶴甲団地G 飛田みえ子）

---

### 野菜の端境期は、乾物を使った料理で【干しシイタケの煮物】

甲賀の干しシイタケ……40g（戻しておく）

粗糖……大さじ3

三河みりん……大さじ1

干しシイタケの戻し汁……200ml

以上を鍋に入れ、沸騰したら弱火で時々アク

を取りながら20分煮る。大徳醤油大さじ2を加えて、さらに弱火で10分煮る。干しシイタケの煮物を作っておくと、そのまま食べたり、うどんの具、ちらしずしの具に使え、冷凍もできます。 （事業部 藤原 栄子）

## 2017年度 総会のご案内

4月29日(土・祝) 10:30~14:00

プログラム 10:30~12:00 議事  
12:30~13:55 昼食と交流会  
14:00 閉会




議決権は1人1票です。出欠届のハガキを郵送してください。特に欠席の方は委任状に記入の上、総会成立のため必ず郵送をお願いします。4/27(木) 必着です。

●印刷機械の故障で予定通り印刷が出来なかったことと隔週配送が重なり、特に火曜ルートの方には大変急がせて申し訳ありませんが、25日に出欠届・委任状のハガキが届き次第速やかに投函いただきますようよろしくお願い致します。

### \*牛肉の配送曜日変更のお知らせ\*

豚肉同様、野菜配送日変更に伴い牛肉の配送曜日に変更となるグループがあります。また、数量を平均化する為、野菜配送日と違う曜日になるグループもあります。

ご了承ください。どうしてもこの予定曜日では困るグループはご連絡ください。(  が変更になるグループです。)



配送日 火曜コース…第一火曜日  
木曜コース…第三木曜日  
金曜コース…第一金曜日

	火曜コース	木曜コース	金曜コース
1	逆瀬川D	つつじが丘	親王塚
2	逆瀬川C	青山台	平井山荘
3	逆瀬川(魚井)	千鳥が丘	北須磨C
4	逆瀬川(吉村)	朝霧	月見山本町
5	逆瀬川(田中)	魚住	西山町
6	逆瀬川(今井)	加古川東	都由乃町
7	津門	粟生新家	都由乃町②
8	松浜	本多間	青山②
9	センター	竜七	青山(翼)
10		北須磨B	青山(照)
11		潮見台	鈴蘭台
12		下山手	ももやま台
13		鶴甲団地	大久保
14		千葉(原田)	大久保(村川)
15			大久保(梅村)
16			大久保(梅村②)
17			高砂(藤原)

### 配送に関するお願い

4月からあしの会による配送が始まっています。配送の変更に伴い、注意していただくことがありますので、再度確認してください。

- 野菜コンテナ、卵ケースは次回配送時に必ず返却してください。
- 卵ケースは継続して使用するため、ホッチキスを外して開けてください。
- 醤油・油・事業部などの品物が入った箱はつぶさないで、そのままの形で返却してください。

### 食料環境セミナー

#### 「地域を支える食と農

～顧客からサポーターへ～

4月26日(水) 10:30~12:00  
ファームアンドカンパニー株式会社・兵庫食べる  
通信 光岡 大介さん  
会場：神戸学生青年センター  
参加費：600円  
託児あり(無料) 前々日までに要予約  
TEL078-851-2760  
主催：(公財) 神戸学生青年センター